2023 年度 河川技術に関するシンポジウム―新しい河川整備・管理の理念と それを支援する河川技術に関するシンポジウム―　プログラム（6/16 時点版）

6 月 8 日(木) ～21 日(水)	（シンポジウム特設サイト※1） 発表論文の説明資料に対するディスカッション
6 月 22 日(木)	第 1 日目（オンライン(zoom※2)，関係者のみ土木学会講堂）
9:00-9:30	開会式（河川部会部会長　諏訪 義雄） 河川技術論文賞　表彰式（水工学委員長　泉 典洋）
9:30-12:00	特定課題オーガナイズドセッション１（OS1） 「流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速～歴史的な洪水となった令和 2 年 7 月球磨川水害からまなぶ～」 オーガナイザー：内田 龍彦，岩見 収二，石川 博基，知花 武佳，川池 健司，原田 守啓，呉 修一
	----------　昼休憩　----------
13:00-15:00	特定課題オーガナイズドセッション２（OS2） 「流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速～流域治水の実践と求められる技術：持続可能な社会の発展に河川技術はどう貢献するか？～」 オーガナイザー：内田 龍彦，岩見 収二，石川 博基，知花 武佳，川池 健司，原田 守啓，呉 修一
15:20-17:20	特定課題オーガナイズドセッション３（OS3） 「河道管理、計画、設計における数値計算の課題と方向性」 オーガナイザー：堀江 克也，戸田 祐嗣，田端 幸輔，三戸 雅文
6 月 23 日(金)	第 2 日目（オンライン(zoom※2)）
8:40-10:20	研究内容およびディスカッション結果の発表１ （Room1，Room2，Room3，Room4，Room5，Room6）
10:40-12:20	研究内容およびディスカッション結果の発表２ （Room1，Room2，Room3，Room4，Room5，Room6，Room7）
	----------　昼休憩　----------
13:20-15:20 (Room5 は 15:40 まで)	研究内容およびディスカッション結果の発表３ （Room1，Room2，Room3，Room4，Room5，Room6，Room7）
15:40-17:20	研究内容およびディスカッション結果の発表４ （Room1，Room2，Room3，Room4，Room6，Room7）
17:20-18:00	閉会式（河川部会副部会長　内田 龍彦） （Room1）

※1　シンポジウム特設サイト： https://www.river-jsce.jp/2023symposium/

※2　Zoom URL は、上記特設サイトにてお知らせします。特設サイトへのアクセスには、事前参加申し込み後に発行される ID、PW が必要です。

■時間割

6/22(木):関係者のみ土木学会講堂、関係者以外はオンライン

時間	Room1
9:00-9:30	**開会式** 諏訪 **河川技術論文賞 表彰式** 泉(司会:堀江)
9:30-12:00	**OS1** 流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速～歴史的な洪水となった令和2 年7 月球磨川水害からまなぶ～ 内田・岩見・石川・知花・川池・原田・呉(司会:内田)
12:00-13:00	昼休憩
13:00-15:00	**OS2** 流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速～流域治水の実践と求められる技術:持続可能な社会の発展に河川技術はどう貢献するか？～ 内田・岩見・石川・知花・川池・原田・呉(司会:呉・原田)
15:20-17:20	**OS3** 河道管理、計画、設計における数値計算の課題と方向性 堀江・戸田・田端・三戸(司会:戸田)

6/23(金):すべてオンライン

時間	Room1	Room2	Room3	Room4	Room5	Room6	Room7
8:40-10:20	**R1-1** PS 流域治水(1) 川池・原田・見上	**R2-1** OPS 真の河川の理解・堰 松木・諏訪	**R3-1** OPS 河川のDXの進展 椿	**R4-1** PS ダム管理 安井・渡邊	**R5-1** OPS 河道の予防保全を現実にするローコストな河川維持管理技術 清水・瀬崎	**R6-1** PS 河川環境・河川生態(1) 尾花・吉川	
10:40-12:20	**R1-2** PS 流域治水(2) 川池・原田・見上	**R2-2** PS 数値計算の課題・方向性 等 太田・竹村	**R3-2** PS DX(洪水観測) 知花・藤田	**R4-2** OPS 長時間アンサンブル予測がもたらすダム操作の変革 角・猪股	**R5-2** PS 土砂管理・河道管理 碇・岩見	**R6-2** PS 河川環境・河川生態(2) 尾花・吉川	**R7-2** OPS 堤防(浸透) 新清・諏訪
12:20-13:20	昼休憩						
13:20-15:20 (R5-3は最大15:40まで)	**R1-3** PS 流域治水(3) 内田・呉	**R2-3** PS 予測・減災(1) 本田・松田・山田	**R3-3** PS DX(三次元データ) 中村・鶴田	**R4-3** PS 真の河川の理解 松木	**R5-3** OPS 河川の機能を維持するための視点と河道管理 溝口	**R6-3** OPS 樹林化メカニズムと対策の方向性 田端	**R7-3** OPS 堤防(越水) 諏訪・新清
15:40-17:20	**R1-4** PS 流域治水(4) 川池・原田・見上	**R2-4** PS 予測・減災(2) 本田・松田・山田	**R3-4** PS DX(深層学習) 黒澤・西口	**R4-4** OPS 橋脚の被災対策における技術的課題 武内		**R6-4** PS その他(気候変動)等 柄沢・堀江	**R7-4** OPS 堤防(侵食) 諏訪・新清
17:20-18:00	**閉会式** 内田						

■オーガナイズドセッション１（OS1）　6 月 22 日(木) 9:30～12:00

「流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速
～歴史的な洪水となった令和２ 年７ 月球磨川水害からまなぶ～」

オーガナイザー：(司会)内田 龍彦，岩見 収二，石川 博基，知花 武佳，川池 健司，原田 守啓，呉 修一

１．趣旨説明

２．基調講演

「令和２年７月球磨川水害の実態と残した課題」

大本 照憲（熊本大学）

「令和２年７月球磨川大洪水、大災害の教訓を流域治水の確かな技術として生かそう」

福岡 捷二（中央大学）

「球磨川流域で進む持続的な地域づくりのための流域治水の取り組み～歴史的大水害からの持続可能な復興に向けて」

島谷 幸宏（熊本県立大学）

３．パネルディスカッション

パネリスト：大本照憲，福岡捷二，島谷幸宏，石川博基，泉典洋，知花武佳，川池健司

司会：内田 龍彦

■オーガナイズドセッション２（OS2）　6 月 22 日(木) 13:00～15:00

「流域治水が駆動する技術・研究の発展と社会実装の加速
～流域治水の実践と求められる技術：持続可能な社会の発展に河川技術はどう貢献するか？～」

オーガナイザー：内田 龍彦，岩見 収二，石川 博基，知花 武佳，川池 健司，(司会) 原田 守啓，呉 修一

１．趣旨説明

２．研究事例紹介

(1)江の川特定都市河川の指定と流域水害対策計画策定に向けた検討※

西尾 正博（中国地方整備局，前三次河川国道事務所長）

(2)流域治水型の治水計画の考え方（試案）～水害ハザード特性の評価～

井上 清敬（国土技術研究センター）

(3)中小河川における河道側方部の貯留空間によるピーク流量逓減効果－多自然川づくりの流域治水への実装に向けての一考察※

萱場 祐一（名古屋工業大学）

(4)霞堤の機能評価と保全方策の検討

瀧 健太郎（滋賀県立大学）

(5)超過洪水時の計画的氾濫による流域の総合的治水安全度向上について

石川 忠晴（東京工業大学名誉教授）

※投稿論文タイトル

３．パネルディスカッション

パネリスト：西尾正博，井上清敬，萱場祐一，瀧 健太郎，石川忠晴，原田守啓

司会：呉修一

４．OS1～2 の総括

岩見 収二，石川 博基

■オーガナイズドセッション３（OS3） 6 月 22 日(木) 15：20～17：20

「河道管理、計画、設計における数値計算の課題と方向性」

オーガナイザー：堀江 克也，戸田 祐嗣，田端 幸輔，三戸 雅文

１．趣旨説明

２．研究事例紹介

⑴実務で使われる河床変動モデルの再現性向上の留意点

田端 幸輔（国土技術政策総合研究所）

⑵２次元計算と３次元計算の違い

梶川 勇樹（鳥取大学）

⑶３次元計算の世界的なトレンド

柏田 仁（東京理科大学）

⑷流れの 3 次元性を考慮できるモデルを超過洪水に対する河道管理、計画、設計にどう役立てるべきか

福岡 捷二（中央大学）

３．総合討議

パネリスト：梶川 勇樹，柏田 仁，福岡 捷二，堀江 克也，田端 幸輔，三戸 雅文

司会：戸田 祐嗣

■発表論文

Room1

PS：流域治水(1)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	球磨川流域を対象とした緑の流域治水の概念化とそれに基づく実践	島谷 幸宏	8:40	～	9:00	川池 健司 原田 守啓 見上 哲章
2	球磨盆地における迫耕作放棄田を活用した流出抑制と湿性生物生育場保全に関する基礎研究	新垣 俊介	9:00	～	9:20	
3	豪雨時における人吉市内の内水氾濫機構の分析と被害軽減に向けた検討	福岡 龍	9:20	～	9:40	
4	R2年7月豪雨時の川辺川における水害防備林の氾濫流減勢の評価と配置に関する検討	徳永 至	9:40	～	10:00	

PS：流域治水(2)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	超過洪水時の三次元エネルギー分布に基づく河道・堤防の一体設計の考え方	福岡 捷二	10:40	～	11:00	川池 健司 原田 守啓 見上 哲章
2	河道・氾濫原一体型の流木挙動シミュレーションの構築	清水 義彦	11:00	～	11:20	
3	令和 4 年 8 月豪雨時の高時川霞堤の機能評価と保全方策の検討	馬場 大輝	11:20	～	11:40	
4	流域治水時代における国土保全への一考察～霞堤附帯遊水地の減災・生態的機能に着目して～	佐伯 絵美	11:40	～	12:00	

PS：流域治水(3)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	流域における減災対策の現場適用に向けた水害ハザード特性の評価手法の試案	井上 清敬	13:20	～	13:40	内田 龍彦 呉 修一
2	大規模水害時における洪水到達時間によるゾーニングを導入した新たな避難方策の提案	國崎 皓	13:40	～	14:00	
3	中小河川における河道側方部の貯留空間によるピーク流量逓減効果－多自然川づくりの流域治水への実装に向けての一考察	萱場 祐一	14:00	～	14:20	
4	本川の超過洪水に伴う支川背水の影響に関する調査～高梁川支川新本川を対象として～	石川 忠晴	14:20	～	14:40	

PS：流域治水(4)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	令和2年7月球磨川水害において中洲が洪水流に与える影響と治水対策	宇根 拓孝	15:40	～	16:00	川池 健司 原田 守啓 見上 哲章
2	河川流・氾濫流一体解析による令和2年球磨川水害における建物流失率の検討	柏田 仁	16:00	～	16:20	
3	江の川特定都市河川の指定と流域水害対策計画策定に向けた検討	平末 彬	16:20	～	16:40	
4	多段階リスク明示型浸水想定区域図を応用した危険箇所の抽出とまちづくりへの展開	伊藤 英恵	16:40	～	17:00	

■発表論文

Room2

OPS：真の河川の理解・堰

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明	オーガナイザー	8:40	～	9:00	松木 洋忠 諏訪 義雄
2	羽村堰の基本構造と管理体制の変遷（江戸時代）	松木 洋忠	9:00	～	9:20	
3	堰・頭首工の技術発展経緯考察と今後の技術開発課題整理	諏訪 義雄	9:20	～	9:40	
4	総合討議	パネリスト 諏訪、松木、太田	9:40	～	10:00	

PS：数値計算の課題・方向性等

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	国内外の河川流・氾濫流解析モデルのレビュー ～3次元モデルに着目して～	二瓶 泰雄	10:40	～	11:00	太田 一行 竹村 吉晴
2	実例から見た河口砂州・砂礫浜の復元に寄与する漂砂供給源についての考察	諏訪 義雄	11:00	～	11:20	
3	植生および堆積土砂が袋型根固め材の安定性に及ぼす影響	萩原 照通	11:20	～	11:40	
4	堰が連続する区間における土砂堆積と河床材料の分級に関する実験と解析	田端 幸輔	11:40	～	12:00	
5	発電ダムにおける持続可能な土砂管理手法の選択と運用高度化の課題	奥村 裕史	12:00	～	12:20	

PS：予測・減災(1)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	気象分布画像を用いた融雪期における河川水位の予測手法	大野 剛	13:20	～	13:40	本田 隆英 松田 浩一 山田 拓也
2	流域内河川濁質流出のモデル化と粒子フィルタによる濁度予測	中澤 麗稀	13:40	～	14:00	
3	河川工事のための出水予測における降水予報の誤差分析	飯村 浩太郎	14:00	～	14:20	
4	確率雨量によるレーダ雨量の河川計画への適用可能性評価	大橋 史帆里	14:20	～	14:40	

PS：予測・減災(2)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	信濃川下流域における本川支川並びに前線性降雨を対象とし住民自らの判断による避難を支援するためのマイ・タイムラインについて	竹下 幸美	15:40	～	16:00	本田 隆英 松田 浩一 山田 拓也
2	令和4年台風第15号による静岡市清水区の高齢者施設における浸水被害と夜間の緊急参集の課題	金井 純子	16:00	～	16:20	
3	流木捕捉池内の流況制御を考慮した流木捕捉施設配置の設計	加藤 翔吾	16:20	～	16:40	
4	山地斜面における岩盤内地下水位の年変動と強雨時の表層地下水位との連動特性	小谷 隼人	16:40	～	17:00	

■発表論文

Room3

OPS：河川のDXの進展

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明	オーガナイザー	8:40	～	8:45	椿 涼太
2	河川CIMに貢献する3次元の多自然川づくり支援ツールの開発と普及	林田 寿文	8:45	～	9:05	
3	ゲームエンジン等を活用した川づくりとICT施工を見据えた河道設計の試行	池上 龍	9:05	～	9:25	
4	3DスキャナやUAV-SfMで取得した3次元形状データ解析による河床表層材料の粒度分布調査	山本 亮介	9:25	～	9:45	
5	水上・空中両用ドローンを用いた河川水面下の粒度分布推定手法の開発	大中 臨	9:45	～	10:05	
6	総合討議	オーガナイザー	10:05	～	10:20	

PS：DX（洪水観測）

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	地上マイクロ波レーダーのエコーデータ処理による洪水流量の推定	大原 由暉	10:40	～	11:00	知花 武佳 藤田 士郎
2	常呂川における流量観測高度化の取り組みと流量算出精度向上の検討	佐々木 章允	11:00	～	11:20	
3	携帯情報端末の加速度センサーを活用した画像解析による流速計測機器の開発	南 良忠	11:20	～	11:40	
4	トレイルカメラを用いた晶氷流下の検知とアラート配信システムの開発	甲斐 達也	11:40	～	12:00	

PS：DX（三次元データ）

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	礫床河川の土砂動態把握のための圧力計を用いた土砂堆積高計測装置の開発	中田 一騎	13:20	～	13:40	中村 圭吾 鶴田 舞
2	8バンドマルチスペクトル光学衛星画像を用いた河道内土地被覆分類法の検討	江口 翔紀	13:40	～	14:00	
3	高解像度人工衛星画像及びLPデータを用いた河川域植生図作成手法の開発	宮脇 成生	14:00	～	14:20	
4	水理解析のための UAV 写真測量におけるDSM データ補正手法の提案と検証	南 まさし	14:20	～	14:40	
5	航空レーザ計測データによる河道内に繁茂する竹林の体積推定法の検討	手塚 透吾	14:40	～	15:00	

PS：DX（深層学習）

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	CNNによる流出解析における降雨の時空間分布の影響検討	善光寺 慎悟	15:40	～	16:00	黒澤 祥一 西口 亮太
2	転移学習を用いた洪水イベントAI事前学習モデルの構築	木村 延明	16:00	～	16:20	
3	リアルタイム洪水予測モデルにおける複数の目的関数を用いた最適化手法および自動追加学習手法の考案	岡峰 奈津美	16:20	～	16:40	
4	深層学習を用いたリアルタイム河川水位予測 システムの開発と山口県全域への適用	福丸 大智	16:40	～	17:00	

■発表論文

Room4

PS：ダム管理

No	タイトル		時間			司会
1	長時間アンサンブル降雨予測による事前放流の早期開始判断と回復可能性の検証	木谷 和大	8:40	～	9:00	安井 辰弥 渡邊 茂
2	長時間アンサンブル降雨予測を用いた多目的ダムの後期放流操作に関する研究	西 琴江	9:00	～	9:20	
3	ダム洪水吐きの持続的機能発揮に向けた貯水池堆砂・流木・沈木管理	髙田 翔也	9:20	～	9:40	
4	ダム群連携最適操作シミュレータの開発	田村 和則	9:40	～	10:00	

OPS：長時間アンサンブル予測がもたらすダム操作の変革

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	10:40	～	10:55	角 哲也 猪股 広典
2	長時間アンサンブル降雨予測を活用した多目的ダムの高度運用に関する検討	道広 有理	10:55	～	11:10	
3	長時間アンサンブル降雨予測情報を適用した 天竜川 水系 水力発電ダム群の運用高度化	松原 隆之	11:10	～	11:20	
4	長時間アンサンブル降雨予測を用いた耳川水系ダム通砂運用下の治水・水力発電運用高度化	森 遼太郎	11:20	～	11:30	
5	総合討話題提供（ダム運用高度化に向けた国土交通省の取組）	大野 良徳	11:30	～	11:35	
6	総合討議	オーガナイザー	11:35	～	12:00	

PS：真の河川の理解

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	利用可能性の高い水辺拠点の評価指標の提案	尾崎 光政	13:20	～	13:40	松木 洋忠
2	細粒土砂捕捉に配慮した河道内沈砂地の設置の効用と地域に果たした役割	佐々木 真	13:40	～	14:00	
3	河川と接続した半閉鎖性水域の堆積物からみた氾濫原環境の分析：揖斐川水系津屋川における現地観測の結果から	田代 喬	14:00	～	14:20	
4	九州北部豪雨対応で行った沖積砂礫河川の川づくりとその検証	福留 康智	14:20	～	14:40	

OPS：橋脚の被災対策における技術的課題

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	15:40	～	15:45	武内 慶了
1	洪水時に橋脚洗掘被害を受けた近年の被災事例に関する調査報告	猪股 広典	15:45	～	15:57	
2	横断遮蔽物による河床洗掘現象を表現できる実用的数値解析手法の提案	長田 健吾	15:57	～	16:09	
3	導流工を適用した橋脚の局所洗掘の対策工に関する実験的検討	大本 照憲	16:09	～	16:21	
4	話題提供1（現場での取り組み事例）	板垣 修	16:21	～	16:36	
5	話題提供2（道路構造物分野）	藤田 智弘	16:36	～	16:51	
6	総合討議	オーガナイザー	16:51	～	17:20	

■発表論文

Room5

OPS：河道の予防保全を現実にするローコストな河川維持管理技術

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	8:40	～	9:00	清水 義彦 瀬﨑 智之
2	侵食抵抗の小さい岩盤の露出した河川に効果的な河床低下対策工の検討	清家 拓哉	9:00	～	9:20	
3	自動更新機能を有するリアルタイム河床変動計算と危険箇所のアラート通知システムの開発	佐藤 誠	9:20	～	9:40	
4	総合土砂管理の推進に向けた河道領域の土砂に関する課題抽出手法の提案 ～二極化進行の可能性のある河川を対象として～	武川 晋也	9:40	～	10:00	
5	総合討議	オーガナイザー	10:00	～	10:20	

PS：土砂管理・河道管理

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	洪水時における網状砂州の移動による水衝部の変化とそれに伴う水面模様の変化	森本 有祐	10:40	～	11:00	碇 正敬 岩見 収二
2	降雨−土砂・流木流出モデルに基づくハザード予測に関する研究	原田 大輔	11:00	～	11:20	
3	蛇行する低水路を有する複断面河道における洪水流の流下機構と河道内被災の分析と対策—令和2年7月球磨川洪水を例として—	後藤 岳久	11:20	～	11:40	
4	地形解像度と流況モデルの違いが河川合流部の流れおよび河床変動解析に及ぼす影響	梶川 勇樹	11:40	～	12:00	

OPS：河川の機能を維持するための視点と河道管理

No	タイトル	発表者	時間			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	13:20	～	13:40	溝口 敦子
2	急勾配河道区間に大量の細粒土砂が供給された場合の堆積・延伸過程	武内 慶了	13:40	～	14:00	
3	Xバンドレーダによる天竜川河口域の河道砂州掘削後の地形変化の追跡	桒原 一峻	14:00	～	14:20	
4	河道管理における流下能力維持のための新たな技術マネジメント手法の提案	水口 大輔	14:20	～	14:40	
5	大規模洪水による高水敷化した砂州河岸の洗掘に伴う船底形断面形の形成	後藤 勝洋	14:40	～	15:00	
6	取水口堆砂軽減のための排砂促進手法－三次元河床変動解析による合理的設計－	太田 一行	15:00	～	15:20	
7	総合討議	オーガナイザー	15:20	～	15:40	

■発表論文

Room6

PS：河川環境・河川生態(1)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	汽水域の魚類群集把握に向けた環境DNAの最適な採水手法の検討	菅野 一輝	8:40	～	9:00	尾花 まき子 吉川 泰弘
2	環境DNAを用いた江の川水系におけるオオカナダモの季節的繁茂特性の把握	宮平 秀明	9:00	～	9:20	
3	環境DNA定量メタバーコーディング法を用いた河川魚類の好適水温帯の推定	滝山 路人	9:20	～	9:40	
4	魚類の環境DNAを用いた江の川土師ダム下流の河川環境健全度評価	宮園 誠二	9:40	～	10:00	

PS：河川環境・河川生態(2)

No	タイトル	発表者	時間			司会
1	河川流域の水温変動特性を説明する重要な特徴量の検出とその解釈－中国地方の小瀬川・佐波川・高津川における夏季と冬季の観測水温を対象に－	溝口 裕太	10:40	～	11:00	尾花 まき子 吉川 泰弘
2	Keystone設置による渓流再生手法の有効性―山附川改修後10年の変化	髙田 浩志	11:00	～	11:20	
3	底生動物群集の多様性回復技術としての人工基質条件	谷口 裕美	11:20	～	11:40	
4	表層及びその下層の河床材料の粒径に着目したアユの産卵場の評価	小野田 幸生	11:40	～	12:00	

OPS：樹林化メカニズムと対策の方向性

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	13:20	～	13:40	田端 幸輔
2	展葉直後の伐採および複数回の刈取りによるヤナギ類の再繁茂抑制効果の検討	大石 哲也	13:40	～	14:00	
3	洪水時における砂州の挙動が砂州上に繁茂する樹木群流失に与える影響	油川 曜佑	14:00	～	14:20	
4	河道内の樹林化予測モデルの開発と予防保全の考え方にもとづく樹木管理への活用方策の検討～庄内川を事例として～	小田 洋平	14:20	～	14:40	
5	札内川における礫河原再生技術とその取組	天羽 淳	14:40	～	15:00	
6	総合討議	オーガナイザー	15:00	～	15:20	

PS：その他（気候変動）等

No	タイトル		時間			司会
1	気候変動による非超過確率1/10の少雨年の発生頻度の変化の計算	西村 宗倫	15:40	～	16:00	柄沢 祐子 堀江　克也
2	氷径分布と空隙率がアイスジャムによる水深上昇に与える影響	吉川 泰弘	16:00	～	16:20	
3	温暖化を踏まえた新たな流域平均雨量の提案と洪水ピーク流量の関係性に関する考察	大森 大喜	16:20	～	16:40	
4	オープンデータを利用した河川ドローンウェイデータの試作	國谷 岳	16:40	～	17:00	

■発表論文

Room7

OPS：堤防(浸透)

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	10:40	～	10:45	新清 晃 諏訪 義雄
2	川内川流域の地形・地質を踏まえた基盤浸透による堤防破壊危険性の評価	白石 芳樹	10:45	～	11:05	
3	漏水流量と地盤損傷の関係性に着目した河川堤防のパイピング破壊に対する矢板の効果	澤村 直毅	11:05	～	11:25	
4	パイピング模型実験におけるパイプ部の進展に伴う形状変化の精密測定	井澤 良太	11:25	～	11:45	
5	堤防法面の芝の維持に向けた基盤土からの発芽抑制手法の提案	山本 嘉昭	11:45	～	12:05	
6	総合討議	オーガナイザー	12:05	～	12:20	

OPS：堤防(越水)

No	タイトル	発表者	時間（目安）			司会
1	趣旨説明等	オーガナイザー	13:20	～	13:40	諏訪 義雄 新清 晃
2	吸出し防止材で覆われた堤防裏法面に越水時に作用する流速に関する検討	西嶋 貴彦	13:40	～	14:00	
3	堤防裏法面等を被覆する水防工法のシート敷設方法及び堤防侵食抑制効果に関する実験的研究	前田 俊一	14:00	～	14:20	
4	堤防断面形状および堤体材料が破堤拡幅進行過程に与える影響	島田 友典	14:20	～	14:40	
5	竹が繁茂する堤防における竹の根の実態について	八木 裕人	14:40	～	15:00	
6	総合討議	オーガナイザー	15:00	～	15:20	

OPS：堤防(侵食)

No	タイトル	発表者	時間（目安）			オーガナイザー
1	趣旨説明等	オーガナイザー	15:40	～	16:00	諏訪 義雄 新清 晃
2	大規模出水時の堤防等の破損と事前の変状状況の関連性評価のための堤防点検記録分析	小池 進太郎	16:00	～	16:20	
3	Fault Tree 図と流況計算を活用した複断面河道における侵食・洗掘による破堤危険性評価の提案	坂野 アイカ	16:20	～	16:40	
4	九州三次元河川管内図の仮想空間で実施した堤防等河川管理施設の点検・評価の試行報告	清原 正道	16:40	～	17:00	
5	総合討議	オーガナイザー	17:00	～	17:20	